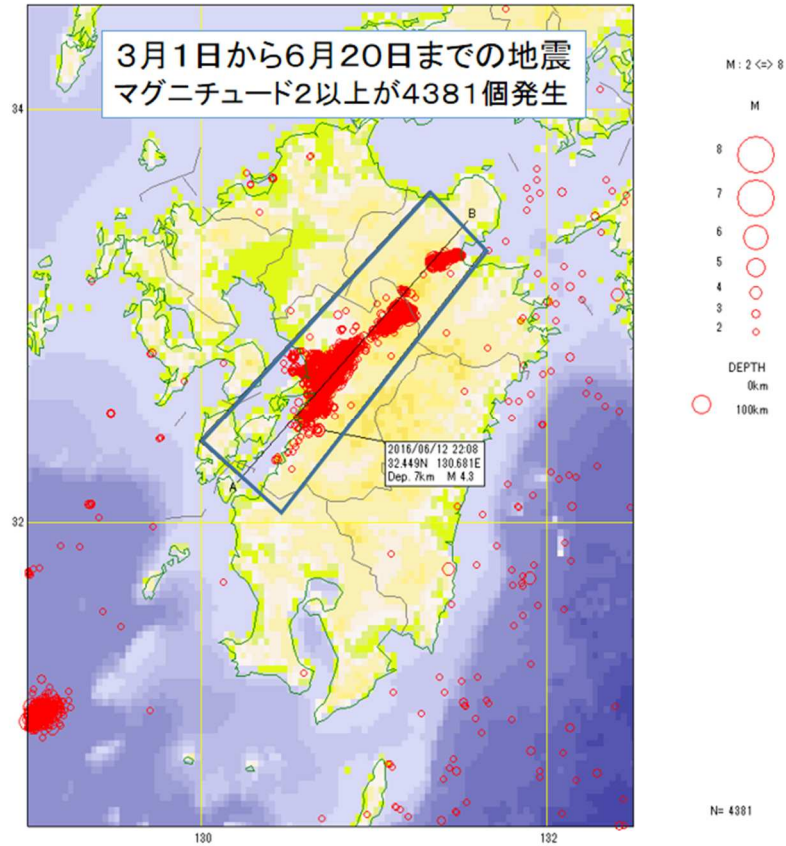


DuMA ニュースレター

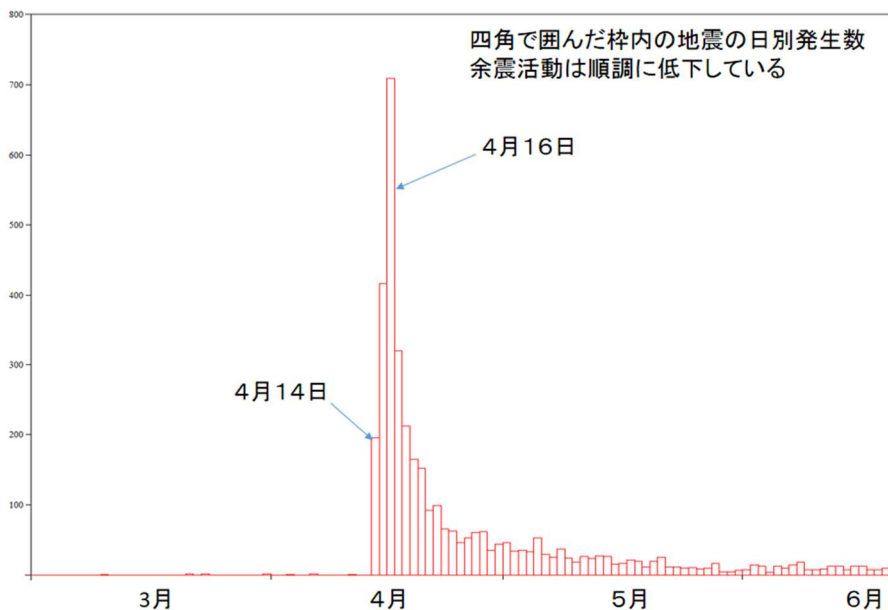
2016年06月27日

熊本地震の現状

4月14日の最初の地震の発生からすでに2ヶ月半が経過しました。幸い熊本、大分での地震活動は順調に収束に向かっているようです。実際、6月に入ってからのマグニチュード4以上の地震は3個だけとなっています。ただし気になるのが、図中でも示した6月12日の地震のように少し震源域が南側へ拡大している事です。



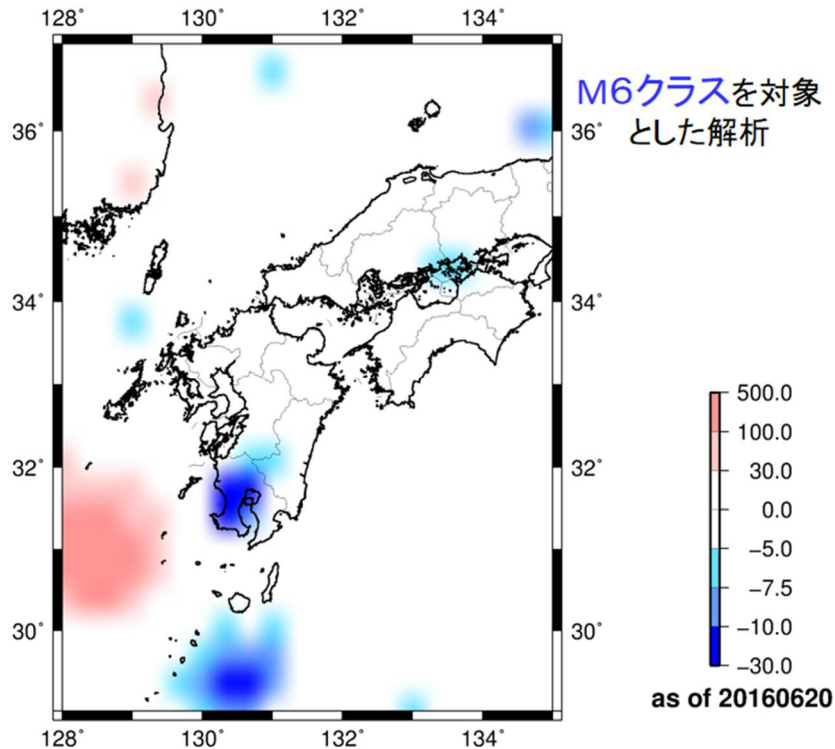
下の図は3月1日から6月20日までの日別地震発生数で、余震活動は続いているですが、かなり低下してきた事がわかります。





それでは、今後の九州およびその周辺での状況はどうなる可能性が高いか、今回はM6クラスを対象とした解析とM7クラスを対象とした解析の2種類を行ってみました。

下の地下天気図®はM6クラスを対象とした解析で、鹿児島県や屋久島南方海域で現在静穏化の異常が現れています。またこれまでもお知らせしてきましたように中国・四国地方(瀬戸内海)にも異常が観測されています。



下の地下天気図®はM7クラスを対象とした解析です。種子島近傍に弱い異常が観測されていますが、現時点ではこの地域にM7クラス発生が差し迫っている状況では無い事がわかりました。

